

2023年度マテリアリティ（重要課題）の達成状況

気候変動への対応

温室効果ガス排出削減

工場・オフィス・不動産事業等で使用する電力・燃料のCO2排出量を削減します

◆主な取り組み

- ・製造工程等におけるCO2排出量削減（Scope1,2）の取組
- ・再生エネルギー利用によるCO2排出量削減（Scope1,2）の取組

◆2030年度目標	◆2023年度目標	◆2023年度実績	◆達成状況
製造工程等におけるCO2排出量削減 23%減(2013年度比)	-38,700t-CO2 12%減	-76,800t-CO2 23%削減	○
再生エネルギー利用による CO2排出量削減 15%減(2013年度比)	-4,700t-CO2 1%減	-4,100t-CO2 1%削減	△

※達成状況 ◎=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かながら到達せず ×=目標数値にほど遠い

* サプライチェーン全体の排出量把握を目的としたScope3の算定についても準備を進めております。

社用車のHV導入や、輸送効率化の推進によりCO2排出量を削減します

◆主な取り組み

- ・社用車にHVを導入
- ・紙筒製品の保管拠点や配送条件の見直しによる輸送効率化

◆2030年度目標	◆2023年度目標	◆2023年度実績	◆達成状況
社用車のHV導入割合36%	7%	7%	○
紙筒製品の輸送・物流拠点の 効率的運用推進継続	コンテナ・パレット利用による 輸送の効率化の推進 配送拠点の見直し、1次店倉庫の活 用により小口配送の削減	紙筒の一部規格で大口径受注の単位 にてパレット輸送を開始。 配送拠点（ストックポイント倉庫 として活用）を増設。	○

※達成状況 ◎=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かながら到達せず ×=目標数値にほど遠い

林業への貢献

苗木への紙筒育苗技術普及により計画的植林を可能とし、大量のCO2を吸収、長期間固定する林業に貢献します

◆主な取り組み

- ・(国内外)紙筒育苗技術普及による森林保全、新素材紙筒の商品開発
- ・(国内)育苗技術の確立、民有林での積極的な普及・推進活動、林野庁『伐採と造林の一貫作業システム』における紙筒苗木の容認と普及推進
- ・(海外)台湾市場での普及促進

◆2030年度目標	◆2023年度目標	◆2023年度実績	◆達成状況
紙筒の国内外の販売(普及)数量 780ケース 〔CO2吸収量72千t/年、 累計479千t/年 ※下欄参照〕	370ケース 〔CO2吸収量33千t/年、 累計62千t/年〕	140ケース 〔CO2吸収量13千t/年、 累計41千t/年〕	×
新素材紙筒の普及促進	新素材紙筒の試験利用	新素材紙筒の試験開始	○

※達成状況 ◎=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かながら到達せず ×=目標数値にほど遠い

※上記CO2吸収量：林木用紙筒で植林された森林の年間CO2吸収量（スギのCO2吸収量で換算）

累計：林木用紙筒の累計販売数量から想定される同技術にて植林された森林の年間CO2吸収量

牛由来メタン減少への貢献

地球温暖化にも影響を与えうる牛のゲップ(メタン)を減少させる飼料の開発に取り組みます。

◆主な取り組み

- ・メタン発生を軽減する資材の選定、製品開発と拡販

◆2030年度目標	◆2023年度目標	◆2023年度実績	◆達成状況
メタン発生を軽減する効果がある飼料の モニタリング実施	メタンモニタリング装置の 設置	当初予定の方式は測定値が不安定 新たなモニタリング方法による システムを開発中	△

※達成状況 ◎=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かながら到達せず ×=目標数値にほど遠い